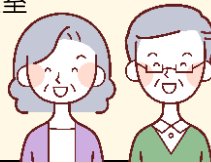


2023 年度 第1回 援助会員養成講座のご案内

会場：松阪市産業振興センターカリヨン別館 及び 松阪市産業振興センター2 階人材育成講座室
対象：松阪市及び近隣市町に在住または、松阪市内に通勤通学する 20 歳以上の方
募集人数：30 名（先着順）
受講料：無料（但しテキスト代 2,200 円が必要となります）
託児：無料 必要な方は、2023 年6月12 日（月）までにお申込みください。



月 日	会 場	時 間	内 容	講 師(敬称略)
6月20日(火)	カリヨン別館 展示室・会議 セミナー室 カリヨンプラザ1階	9:20～ 9:30	オリエンテーション	まつさかファミリーサポートセンター アドバイザー
		9:30～11:30	①保育サポーターの役割と心得	(特)松阪子どもNPOセンター 理事長 塩谷明美
		12:30～14:30	②保育の心	子育て支援アドバイザー 堀川美子
		14:45～16:15	③子どもの生活へのケアと援助	松阪市健康福祉部健康づくり課 保健師 阪口真美
6月25日(日)	人材育成 講座室 松阪市産業振興 センター2階	9:30～11:30	④心の発達と障がいについて	高田短期大学 子ども学科 教授 山口昌澄
		12:30～14:30		
		14:45～15:45	⑤児童虐待と社会的養護	松阪市健康福祉部こども局こども支援課 こども家庭支援係長 西出浩幸
		16:00～16:45	⑥松阪市の子育て支援サービスの現状	松阪市健康福祉部こども局こども支援課 こども係長 山岡 恵
6月28日(水)	人材育成 講座室	9:30～12:30	⑦子どもの栄養と食生活	管理栄養士(元大学教授) 馬場啓子
		13:30～16:30	⑧子どもの事故と安全・心肺蘇生法	日本赤十字社三重県支部 参事 青木恵津子
7月6日(木)	カリヨン別館 展示室・会議 セミナー室	10:00～12:00	⑨子どもの遊び	ユマニテク短期大学 幼児保育学科 教授 山野栄子
		13:00～16:00	⑩小児看護の基礎知識	三重県立看護大学 小児看護学 教授 宮崎つた子
7月13日(木)	カリヨン別館 展示室・会議 セミナー室	12:00～14:00	⑪講座を振り返って	まつさかファミリーサポートセンター アドバイザー
		14:00～14:45	⑫事業を円滑にすすめるために	まつさかファミリーサポートセンター アドバイザー
		15:00～17:00	⑬身体の発育と病気	医療法人大久保クリニック 院長 大久保俊樹



援助できる内容

保育園、小学校、学童保育、習い事等の送迎/保育園等の開始前や終了後の預かり
保護者のリフレッシュの際の預かり/保護者の病気や外出の際の預かり/
軽い病児、病後児の預かり等

利用料金（1時間あたり）	通常	緊急・病児
平日7：00～19：00	700円	1,000円
平日の上記以外の時間 および土・日・祝日	800円	1,200円
年末年始（12/29～1/3）	1,000円	1,400円
宿泊の利用料金（1回あたり）		
22：00～6：00（連続8時間）		5,000円
年末年始（12/29～1/3） 22：00～6：00（連続8時間）		7,000円

依頼会員

松阪市及び、近隣市町に
在住または、松阪市内に
通勤通学するおむね
4 ヶ月～小学 6 年生の
お子様をお持ちの方

⑤援助活動

※依頼会員と援助会員は兼ね
ることができます（両方会員）

援助会員

松阪市及び、近隣市町に
在住または、松阪市内に
通勤通学する 20 歳以
上の方で講習会を受け
登録された方

利用するには…

- ①入会申込書に必要事項を記入し、登録をしてください。（登録料は無料です）
- ②依頼会員とその条件に合う援助会員（2～3名）がお子さんを交え事前に
顔合わせをします。
※①②を済ませておけば、依頼することができ、いざという時にも安心です。
※援助活動中の万が一の事故に備え、補償保険に加入しています。

まつさかファミリーサポートセンター

〒515-0078

三重県松阪市春日町二丁目 1 番地 ルミエール KASUGA

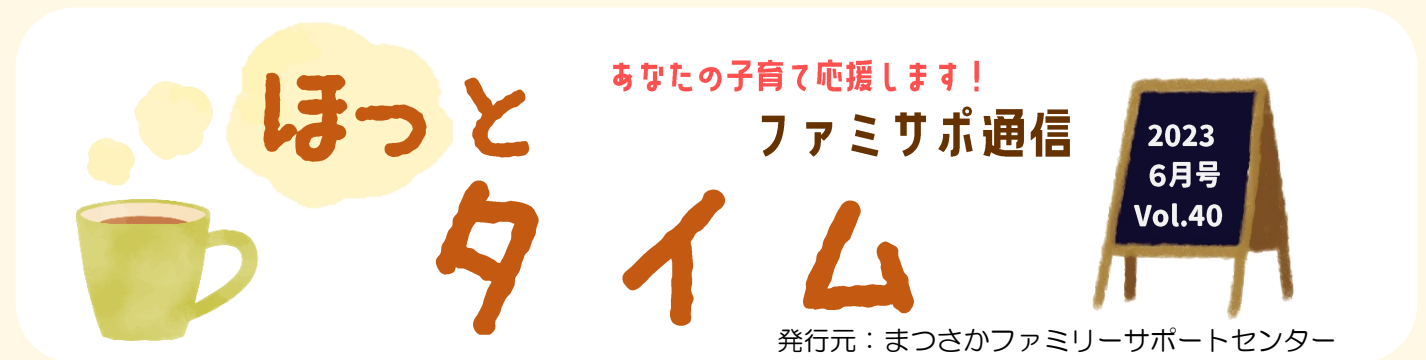
特定非営利活動法人松阪子ども NPO センター内

TEL/FAX 0598-20-8246

mail：mfsc@mknp.jp HP：http://www.mknp.jp/mfsc/

開所時間 月～金/8：30～19：00（土日祝日・年末年始は休み）

詳しくは
ここへ
アクセス！



会員の声

依頼会員 N.T.さん Wさん(3才)

一年半前に他県より転居してきました。実家が遠方で
頼れる人もなく、一人で育児をすることに限界を感じ、
幼稚園入園までの半年間ファミリーサポートを定期的
に（週1回2時間）利用しました。3人の援助会員さん
に（週1回2時間）利用しましたが、娘はそれぞれのお宅でたくさ
んのお世話になりましたが、娘はそれぞれのお宅でたくさ
んの刺激を受け成長出来ました。私は預けている間に家
事やリフレッシュができ、とても助かりました。
核家族で、一人で育児を請け負わなければならないプ
レッシャーがありましたが、
援助会員さんは優しく丁寧に
娘を見てくれて、娘も私も一
人ではないと感じられたこと
にとても救われました。今後
も利用したいです。



Wさんの援助会員 S.N.さん

マッチングでは、Wさんが泣いていたのを覚えて
います。初めての事務所で知らない大人に囲まれ、不
安だったのではないのでしょうか。しかし最初の援助
で、緊張しながらも泣かずにお母さんから離れるこ
うことができました。アンパンマンのお絵描きをしたり、
家の探検をしたり、となりのトトロを鑑賞したり・・・
回を重ねるごとに笑顔や会話も増えました。
これからのWさんの成長がとても楽しみです。健
やかに成長され、いつも笑顔でいられるように願っ
てやみません。

Wさんの援助会員 M.N.さん

最初は好奇心旺盛で色々な事に興味を持って
あちこち見て回ったり（探検と呼んでいまし
た。）、塗り絵、パズル、シール貼りや次々遊びを
変えて遊んでいました。
発する言葉に純粋な子どもの視点に驚かさ
れ、お母さまがとても熱心に子どもさんと向き
合っているのだと感じました。
何か月かすると、一つの遊びに集中する時間
が増え、次は何をしようかなと考えたりと、成長
を目の当たりにできて嬉しかったです。また、夏
休みに会えるといいですね。

依頼会員 K.M.さん Hさん(5才)

産後、上の子の保育園送迎で利用しています。ワンオ
ペで頼れる家族は県外在住、下の子は早産で感染予防の
為に外出を控えたいという状況があり、上の子の保育園
送迎をどのようにすれば良いか悩んでいました。そのよ
うなときにファミリーサポートさんの存在を知り、会員
登録をしました。
利用開始した所、子ども思いの良い援助会員様方ばか
りで、上の子が楽しそうに登降園する姿が見られました。
登録当初は1～2ヵ月程度の利用を考えていました
が、援助会員様方に送迎して貰いたい
子どもの希望があり、今も利用を継続
しています。



Hさんの援助会員 M.O.さん

H ちゃんとはおうちに迎えに行ってから保育園
に着くまでのほんの 20 分の時間ですが、毎
回可愛らしい様子を癒されています。ピンク色
が好きなこと、雪は好きじゃないこと、お出かけ
したこと、チョコが好きなことなどなど。たった
20 分ですが、色々お話ししてくれます。今日は
何を話してくれるかな？毎回楽しみです。

Hさんの援助会員 M.U.さん

朝、お迎えに行くと、準備万端で待っていてくれま
す。車に乗り込んでからは、大きく手を振ってくれる
ママを見届けて出発です。窓の外を見ながら、色々な
ことをお話ししてくれ、あっという間に保育園に到着。
先生にも「おはよう」と言えるようになったね。援助終
了後も、気持ち良く帰路に着き、一日が始まります。

Hさんの援助会員 H.A.さん

いつも見えなくなるまでお母さんと
手を振り合って出発するHさん。園まで
のあいだ楽しく話してくれるので私も
楽しく会話させてもらっています。これ
からもよろしくお願いします。

まつさかファミリーサポートセンターは（特）松阪子ども NPO センターが松阪市より委託を受けて運営しています



2022年度活動報告

今年度の援助活動件数は 1042 件でした。利用内容は、放課後児童クラブ、保育園・幼稚園、習い事等への送迎や預かりに伴う送迎が 813 件で全体の約 78%を占め、保護者の就労などでの預かりが 229 件で約 22%、昨年度より 4 ポイント送迎が多い状況でした。

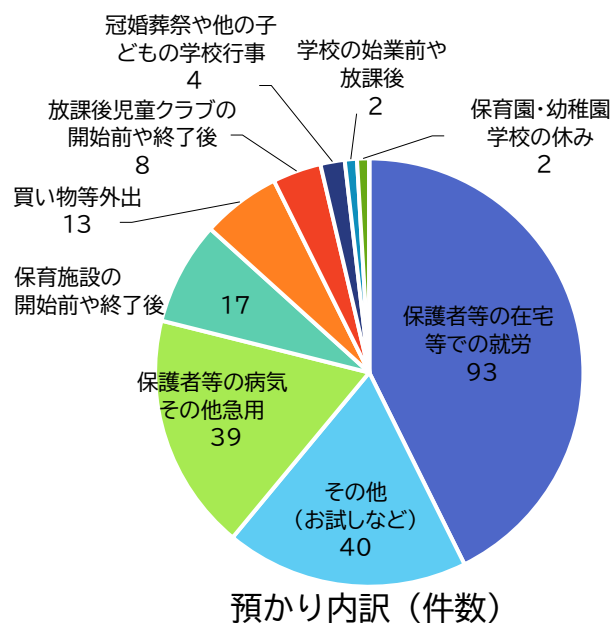
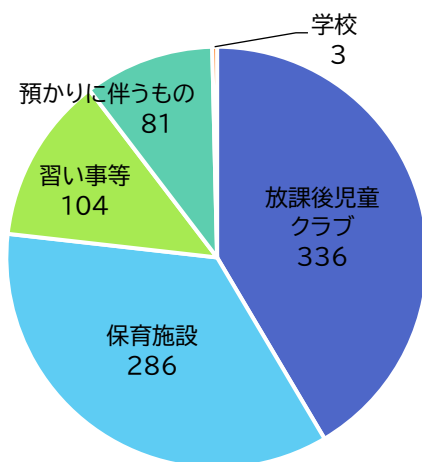
2022 年度の特徴として、障害のある子どもの預かりや送迎の援助が、問い合わせも含めて多くありました。全国的にも障がい児の援助が増えており、ファミリーサポートセンターの役割に期待が高まっています。専門家ではない私たちにどこまで支援できるのか、時にはお断りしなければならないこともありました。子どもを丸ごとサポートしていけるよう関係機関と連携して取り組みました。

また、母の仕事復帰が決まっても保育園の入園が決まらないため、保育園が見つかるまでの期間の未就園児の預かりがありました。急な残業や休日出勤、ひとり親で夜勤に従事しながら子育てをしている家庭からの依頼も多くあり、前日や前々日に依頼される緊急の宿泊は、援助会員の都合がつかずに不成立となることもありました。働き方を含めた子育て環境の改善は、社会全体で考えていかなければいけない課題であり、福祉分野だけでなく分野を超えた横断的な改革が必要であると実感しています。

引き続き、子どもの最善の利益を考え、地域の関係機関が連携して支援する体制を作っていきたいと思います。

援助活動一覧表

活動内容	送迎先または事由	件数
送迎 810件 77.7%	放課後児童クラブ	336
	保育施設	286
	習い事等	104
	預かりに伴うもの	81
	学校	3
預かり 218件 20.9%	保護者等の在宅等での就労	93
	その他（お試しなど）	40
	保護者等の病気その他急用	39
	保育施設の開始前や終了後	17
	買い物等外出	13
	放課後児童クラブの開始前や終了後	8
	冠婚葬祭や他の子どもの学校行事	4
	学校の始業前や放課後	2
	保育園・幼稚園・学校の休み	2
	妊娠・出産	0
	保護者等の就職活動	0
	病児・病後児の預かり	0
	宿泊を伴う預かり	8
休日・緊急時 14件 1.3%	緊急時の預かり	3
	休日・緊急時の預かりに伴う送迎	3
	合計	1042
	キャンセル回数	229



2022 年度 援助会員養成講座

2022 年度 第1回目

6/30(木)・7/7(木)・7/10(日)
7/13(水)・7/20(水)
参加者: 新規 14 名・再受講 13 名
会員登録 7 名

2022 年度 第2回目

1/29(日)・2/2(木)
2/7(火)・2/16(木)・2/22(水)
参加者: 新規 18 名・再受講 15 名
会員登録 6 名

今年度は第一回、第二回と開催することができました。第二回養成講座は雪の影響で急遽日程変更となりましたが、例年に比べたくさんお申し込みをいただき、子育て支援への関心が高まっているのを感じます。

今回からテキストが育児サポート 4 になり、新たに「虐待と社会的養護」が追加されました。虐待の通告は告発ではなく子どもや親への支援が目的であり、特に児童虐待においては、予防が重要であり子育て支援は虐待の予防につながることを学びました。

また、「保育の心」では絵本を読んでもらったり、優しい歌声でわらべ歌を聞かせていただきました。「子どもの栄養と食生活」では、乳児期から幼児期の適切な食生活が将来の食習慣の基盤を作るということで、食育は非常に重要であることを学びました。

受講された方は 60 代の方が多く 40 代の方の参加もありました。講座を通して「現在子育て中の娘に聞かせたい内容だった。」「自分自身の子育てを反省する内容だった。もっと早く学びたかった。」「子育てについて学び直したい。」という声を頂きました。これからも地域での子育てを一緒に応援していきたいと思っています。



5/26
(木)

交流会

「親子 de YOGA」

会 場：鈴の森公園
真ん中の大きな木の下

講 師：小倉杉絵さん

ヨガ指導師 YOGA SCHOOL Kuan Yin 代表

コロナ禍で外出を控えたり、家族以外の人たちと交流する場が少なくなっていたこともあり、のびのびと過ごせる芝生の上で親子 de YOGA を開催しました。

ほとんどの方が親子ヨガ初体験でしたが、お子さんと一緒にポーズをとったりして楽しそうでした。家へ帰ってからも、お子さんとのふれあいタイムの一つとして親子ヨガを取り入れてもらえたら嬉しいです。

ヨガ後のおしゃべりタイムでは、月齢別に分かれて集まってもらいました。話に花が咲き交流会終了後には、連絡交換するほど仲良くなった方たちもいて、開催してよかったなと思いました。

10:00~12:00
参加者: 会員親子 5 組
一般親子 8 組
計 26 名



10/16
(日)

ステップアップ講座

「交通安全講習と チャイルドシートの正しい装着」

会 場：花岡地区市民センター

講 師：日本自動車連盟（JAF）三重支部
萱野雄彦さん

援助件数の約 8 割を占める送迎ですが、安全に送迎するための交通ルールや注意点、チャイルドシートの必要性を学び、チャイルドシートの取り付け方の実習を行いました。

参加者はメモを取り、質問しながら熱心に聴かれていました。参加者アンケートでは、チャイルドシートの取り扱いを再認識できた、ヘッドレストを正しい位置に調整することなど考えたことがなかった、幼い命を預かっている自覚を持ち援助活動していきたいなどの声が聞かれました。



事務所移転と土曜開所について

2022 年度は事務所の移転という予想していなかったことが起こり、困惑した 1 年でした。旧事務所は、駅前商店街の中で、松阪駅や市役所にも近くご利用いただきやすかったのですが、同じような場所を探したのですがなかなかありませんでした。新事務所は、中心街からは少し離れましたが、健康センターはるるにも近く幹線道路沿いのいい場所が見つかり、気分を新たに業務を始めることができました。

2023 年度からは、より利用していただきやすいように、第 1・第 3 土曜日も開所をし、入会説明やマッチングをしていきますので、お気軽にお立ち寄りいただきたいと思います。

みりんのつぶやき

新型コロナウイルス感染症について

3 年に及んだ新型コロナウイルス感染症が「5 類感染症」に位置付けられました。会員の皆さまには、検温、手指消毒、換気や援助活動の待機等、ご協力いただきましてありがとうございました。今後は特にセンターとしての決まりはありませんが、インフルエンザと同様、感染予防に留意していただきますようお願いいたします。

